

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2024 年度事業報告書

2025 年 5 月



特定非営利活動法人

金融知力普及協会

Association for the Promotion of Financial Literacy

2024 年度事業報告

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

I. 事業の経過および成果（概要）

「全ての人に金融知力を」の理念を実現するために、様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベント「エコノミクス甲子園」においては、各都道府県で実施される地方大会の過半数が、オンライン形式から集合形式に戻り、全国大会も無事終了することができました。また、「リアビズ高校生模擬起業グランプリ」は、過去最高の応募数をいただき、無事に成果発表会を集合形式で実施し、参加者同士の交流や、各模擬企業で成果発表を行うことができました。また「国際経済オリンピック（IEO）」では昨年に引き続き、日本代表選定機関として 2024 年の IEO 香港大会へ日本代表 5 名を派遣し、うち 1 名が銅メダルを獲得いたしました。そして金融知力インストラクター制度の後継となる「金融商品フェアアドバイザー資格（FFA）」は、旧インストラクターからの移行が完了し、現時点で約 300 名にご登録いただいております。

2024 年度は、円安や物価高も進む中ではありましたが、多くの皆様のご支援や寄附等によって、財政的には黒字で終わることが出来ました。今後も持続可能な運営に向けて活動してまいります。

2024 年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 第 19 回エコノミクス甲子園を開催

地方大会は 44 の地方大会（集合形式 28 大会、オンライン開催 16 大会）を実施し、全国で 731 チーム、1,462 名が参加しました。全国大会には、地方大会代表チームに加え、台湾経済オリンピック組織から台湾代表チームも参加し、45 チーム 90 名で開催しました。

金子・森育英奨学基金は継続して実施し、2 名の奨学生と 2 名の支援生が選ばれております。

また、全国大会優勝チームのニューヨーク研修旅行については、2025 年 3 月 30 日より、19 回大会の優勝チーム 2 名を引率いたしました。例年はニューヨークとボストンに訪問しておりましたが、今年はボストンに代えてトロントを訪問いたしました。

② 第5回リアビズ 高校生模擬起業グランプリを開催

今大会は、全国から91件の応募がありました。昨年のおよそ3倍、過去最高の応募数となり、注目度の高まりを感じております。成果発表会では、各模擬企業が行う気持ちのこもったプレゼンテーションはどれも堂々としており、ご来臨の皆様からも大変ご好評をいただきました。グランプリは、地元の桜並木の保全活動を伝えるために、桜をイメージした入浴剤を製作販売した東京都立国立高等学校の「カマエ」が受賞しました。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済TCG エコノミカ」をオンラインにて継続して販売いたしました。今年度もエコノミカ全国大会は実施いたしませんでした。

④ 金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)

金融知力インストラクターの後継として2022年4月に開始しました「金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)」は、金融知力インストラクターとして活動いただいていた方々のFFAへの移行が完了しました。FFAは現在、およそ300名の方にご登録いただいております。

⑤ 国際経済オリンピック (IEO)

国際経済オリンピック (IEO) は、2018年から始まった、1年に1度開催される、高校生向けの経済、ビジネス、金融の知識を競う国際大会で、昨年より派遣を行っております。2024年度の日本代表は、第18回エコノミクス甲子園全国大会出場者や第4回リアビズの出場者から5名を選抜し、7月から8月にかけて香港で行われた大会では、うち1名が銅メダルを獲得いたしました。

⑥ Economics Asia Convention (EAC) 2025

上記IEOに向け、日本代表の最終選考と強化策の一つとして、また国際交流を兼ねて、3月下旬にアジアの高校生との合同合宿を行いました。昨年度に続き2回目の開催で、日本の高校生10名の他にマカオ、ネパール、香港から高校生が参加しました。合宿では東京大学大学院経済学研究科の教授による講義や、IEOを想定した筆記試験、国籍を混合したチームでビジネスケースのプレゼンテーションなどを行いました。

I-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2024 年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	1 名	21 名	1,952 名
アドバンスド コース	0 名	0 名	711 名
合計	1 名	21 名	2,663 名

※通信教育事業は、今年度をもって終了いたしました。

② セミナー・研修

2024 年度に当協会が主催、受託、講師派遣した研修は、以下のとおりです。

・農林中央金庫「LPC 研修」

昨年度に引き続き、農林中央金庫が主催し、全国の JA バンク職員が参加する、6 月と 11 月に行われた宿泊研修の中のプログラムとして、金融知識のクイズ大会を実施しました。

・農林中金バリューインベストメント (NVIC)「モックトレーダー」

昨年度に引き続き、タブレットを用いて 10 年間の長期投資を 1 時間で体験できる模擬投資シミュレーションツールを、NVIC が主催する 10 月の研修の中のプログラムとして行いました。

・静岡雙葉高校「モックトレーダー」

昨年度に引き続き、12 月に上記と同様のプログラムを高校 1 年生の 4 クラスに対して実施いたしました。

・農林中金バリューインベストメント (NVIC)「富山・石川の JA 職員に向けた研修」

NVIC が主催し、富山や石川の JA 職員が参加する研修の中で、知識の再確認と参加者相互の交流を兼ねたクイズ大会を実施しました。

I-3. その他特記事項

① 寄附金

一般会計には、個人から 500 万円の寄附がありました。

エコノミクス甲子園関連は 4,815 万円の寄附等を頂きました。

リアビズ関連には、300 万円の寄附をいただきました。

国際経済オリンピック（IEO）関連には、940 万円の寄附をいただきました。

奨学基金特別会計には、700 万円の寄附をいただきました。

② 雑収入

21 万円の国税還付金と、4 万円の授業目的公衆送信補償金がありました。

Ⅱ. 財務の状況

2024 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。税理士へ全件監査を委託しております。引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益計は、昨年度 7,522 万円から今年度 7,372 万円と 150 万円の減少でした。
- ・ 事業費は 5,952 万円で、そのうち 1,860 万円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 1,366 万円で、そのうち 981 万円が人件費となっております。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用計は、昨年度 7,561 万円から今年度 7,318 万円と 243 万円の減少でした。
- ・ 2024 年度の利益は 46 万円となっております。

以上

令和 6 年度

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

決 算 書 類

【 特 定 非 営 利 活 動 事 業 会 計 】

貸 借 対 照 表

(一 般 会 計 ・ 特 別 会 計)

活 動 計 算 書

(一 般 会 計 ・ 特 別 会 計)

財 産 目 録

(法 人 全 体)

認定特定非営利活動法人 金融知力普及協会

活 動 計 算 書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

(一般会計)

認定特定非営利活動法人 金融知力普及協会

科 目	金 額	
(経常損益の部)		
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員会費収入	552,000	
賛助会員会費収入	1,400,000	1,952,000
2 受取寄付金		
エコノミクス寄付金収入	23,450,000	
一般寄付金収入	5,000,603	
リアビズ寄付金収入	3,000,000	
国際経済リミック寄付金収入	9,403,792	40,854,395
3 事業収益		
通信講座受講収入	9,900	
受託事業料収入	2,357,512	
エコノミクス甲子園収入	24,975,200	
教材等販売収入	21,900	
エコノミカ事業収入	743,900	
金融商品フェアアドバイザー収入	1,667,816	
その他の事業収入	10,755	29,786,983
4 その他の収益		
受取利息	26,315	
受取配当金	850,752	
雑収入	250,132	1,127,199
経常収支計		73,720,577
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	13,831,872	
雑給	20,000	
法定福利費	2,147,661	
福利厚生費	56,405	
給与負担金	2,543,167	
人件費計		18,599,105
(2)その他の経費		
業務委託費	1,202,803	
教材製作費	695,432	
エコノミクス甲子園経費	23,846,814	
エコノミカ経費	192,875	
リアビズ経費	3,658,732	
金融商品フェアアドバイザー経費	1,638,299	
国際経済リミック経費	3,525,608	
広告宣伝費	13,200	

会議費	392,930	
通信運搬費	1,375,775	
旅費交通費	31,210	
事務用品費	142,094	
消耗品費	130,641	
水道光熱費	86,864	
調査費	51,127	
器具備品費	410,492	
賃借料	2,082,037	
支払手数料	225,597	
減価償却費	1,066,000	
雑費	151,858	
その他経費計		40,920,388
2 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	8,864,191	
法定福利費	920,426	
福利厚生費	24,174	
人件費計		9,808,791
(2) その他の経費		
調査費	21,912	
通信運搬費	72,995	
旅費交通費	404,997	
事務用品費	60,898	
水道光熱費	37,228	
会議費	168,399	
諸会費	291,375	
支払手数料	96,685	
保険料	14,090	
支払報酬	734,000	
賃借料	892,301	
租税公課	360,587	
教育研修費	1,600	
広告宣伝費	338,257	
雑費	354,335	
その他経費計		3,849,659
経常経費計		73,177,943
Ⅲ 経常外収益		
Ⅳ 経常外費用		
為替差損	15,129	15,129
Ⅴ 特別利益	0	
法人税等	70,000	70,000
当期純損益		457,505

活 動 計 算 書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

(奨学基金特別会計)

認定特定非営利活動法人 金融知力普及協会

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 奨学基金寄付金収入	7,000,000	
2 奨学基金取崩額	7,119,554	
3 奨学基金運用益	698,101	
経常収益計		14,817,655
II 経常費用		
1 奨学基金支払額	5,750,000	
2 奨学基金募集費	594,000	
3 給料手当	709,577	
4 通信運送費	7,240	
5 消耗品費	891	
6 事務用品費	5,966	
7 旅費交通費	40,000	
8 租税公課	106,911	
9 支払手数料	11,880	
経常経費計		7,226,465
III その他		
1 奨学基金勘定繰入額	7,000,000	7,000,000
IV 当期収支差額		591,190

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(一般会計)

認定特定非営利活動法人 金融知力普及協会

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	36,535,029		
未収金	4,724,532		
貯蔵品	5,467,794		
その他の流動資産	531,616		
流動資産合計		47,258,971	
2 固定資産			
ソフトウェア	2,132,000		
3 投資等			
投資有価証券	19,115,300		
固定資産合計		21,247,300	
資産合計			68,506,271
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,590,544		
未払費用	2,169,536		
未払消費税等	224,300		
前受金	8,300,000		
預り金	146,037		
流動負債合計		13,430,417	
2 固定負債	0		
固定負債合計	0	0	
負債合計			13,430,417
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			
基本金	40,092,783		
前期繰越収支差額	12,215,054		
前期繰越正味財産合計		52,307,837	
投資有価証券評価差額金		2,310,512	
当期純利益		457,505	
正味財産合計			55,075,854
負債及び正味財産合計額			68,506,271

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(奨学基金特別会計)

認定特定非営利活動法人 金融知力普及協会

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	40,949,215		
奨学基金預け金	2,006,674		
流動資産合計		42,955,889	42,955,889
2 投資等			
投資有価証券	12,940,400		
固定資産合計		12,940,400	12,940,400
資産合計			55,896,289
II 負債の部			
1 流動負債			
奨学基金未交付額	53,012,218		
流動負債合計		53,012,218	
2 固定負債	0		
固定負債合計	0	0	
負債合計			53,012,218
III 正味財産の部			
1 投資有価証券評価差額金	-2,119,338		
2 前期繰越収支差額	4,412,219		
3 当期正味財産増加額		2,292,881	
正味財産合計		591,190	2,884,071
負債及び正味財産合計			55,896,289

個別注記表

令和 6 年 4 月 1 日から

令和 7 年 3 月 31 日まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 特定非営利活動に関する注記事項

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2017 年 12 月 12 日最終改訂 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

(1)奨学基金特別会計の会計処理

奨学基金事業の財政状態及び事業収支の状況を明らかにするため従来の会計を一般会計と特別会計とに区分し、奨学基金事業は特別会計として区分処理する方法を採用しています。なお、財産目録は法人全体で作成しています。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産は最終仕入原価法により評価しております。

(3)固定資産の減価償却の方法

無形固定資産は定額法で償却しています。

(4)引当金の計上基準

賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額に基づいて計上しています。なお、当期の計上額はありません。

(5)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

該当ありません。

(6)ボランティアによる役務の提供

該当ありません。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

1)時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。
なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。

2)時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高		備考
エコノミクス甲子園事業	0	23,450,000	23,450,000	0		
リアビズ事業	0	3,000,000	3,000,000	0		
国際経済リリック日本代表派遣事業	0	9,403,792	9,403,792	0		
合計	0	35,853,792	35,853,792	0		

5. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
無形固定資産						
ソフトウェア	5,330,000	0		5,330,000	△ 3,198,000	2,132,000
合計	5,330,000	0	0	5,330,000	△ 3,198,000	2,132,000

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(法人全体)

認定特定非営利活動法人 金融知力普及協会

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
現金手物有高	546,918		
普通預金			
みずほ銀行兜町支店2口	33,537,344		
三菱UFJ銀行日本橋支店	1,441,717		
みずほ銀行兜町支店奨学基金口座	40,949,215		
三井住友銀行東京中央支店	748,439		
郵便振替貯金2口	260,611		
奨学基金口座			
SMBC日興証券㈱日本橋支店※	2,006,674		
小計	79,490,918		
未収金			
教材販売、年会費他	4,724,532		
貯蔵品			
教材等期末在庫高	5,467,794		
その他の流動資産			
前渡金	50,000		
前払費用	263,461		
仮払金	218,155		
小計	531,616		
流動資産合計		90,214,860	
2 固定資産			
ソフトウェア	2,132,000		
小計	2,132,000		
3 投資等			
投資有価証券			
三菱商事	7,879,500		
Oneリート投資法人※	4,868,000		
KDX不動産投資法人※	4,877,400		
日本製鉄※	3,195,000		
平和不動産リート投資法人	1,138,500		
大和証券リビング投資法人	4,435,000		
モンスターラボHD株式	307,500		
Oneリート投資法人	5,354,800		
小計	32,055,700		
固定資産合計		34,187,700	
資産合計			124,402,560
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
イベント関連研修会等業務委託費等	2,590,544		
未払費用			
各種報告書等費用	2,169,536		

未払消費税等			
確定消費税額	224,300		
預り金			
源泉税等	146,037		
前受金			
前受寄付金	8,300,000		
奨学基金未交付額※	53,012,218		
流動負債合計		66,442,635	
2 固定負債	0		
固定負債合計	0	0	
負債合計			66,442,635
正味財産			57,959,925

※印 特別会計帰属分

令和6 年度年間役員名簿 （前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれからの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名	（フリガナ） 氏名	前事業年度内 の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	理事	イマイ キヨシ 今井 激	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
2	理事	オオタ ケイスケ 太田 敬介	令和6年11月8日 ～ 令和7年3月31日	～
3	理事	オゼキ トモヨ 尾関 ともよ	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
4	理事	オノエ コウイチ 尾上 浩一	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
5	理事	カネコ マサシ 金子 昌資	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
6	理事	コウゾ タカシ 神津 多可思	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
7	理事	コウヤマ タカオ 神山 孝雄	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
8	理事	シラネ トシハル 白根 壽晴	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
9	理事	スズキ タツロウ 鈴木 達郎	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
10	理事	トオヤマ アキヨシ 遠山 明良	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～

	役 名	(フリガナ) 氏 名		前事業年度内 の就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
11	理事	トノイケ ヒロユキ 外池 宏之		令和6年11月8日 ～ 令和7年3月31日	～
12	理事	ナガシマ アキラ 永島 旭		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
13	理事	ハウゾウ カホ 寶藏 花穂		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
14	理事	ミタライ シン 御手洗 伸		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
15	理事	モリタ トシオ 森田 敏夫		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
16	理事	モリタ ヒトシ 森田 均		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
17	理事	ワタナベ エイジ 渡邊 英二		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
18	理事	カドタ アキコ 門田 彰子		令和6年4月1日 ～ 令和6年4月30日	～
19	理事	ゴトウ トヨオ 後藤 豊郎		令和6年4月1日 ～ 令和6年11月7日	～
20	監事	オギノ ショウイチ 荻野 昭一		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
21	監事	マサキ アキオ 正木 彰夫		令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日	～
22				～	～
23				～	～
24				～	～
25				～	～

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人金融知力普及協会

	氏 名	
1	桑原 徳雄	
2	米田 芳貴	
3	小原 信夫	
4	谷 公伸	
5	西山 悦子	
6	高山 久美子	
7	佐々木 宏	
8	山田 幸次郎	
9	黒葛原 多恵子	
10	鈴木 達郎	
11	渡辺 博士	